

業 務 計 画 書

2021年2月2日

株式会社中間 TRC 様

安濃処分場閉鎖後の維持管理業務

(湧出ガスの分析・調査)

(委託先) 株式会社東海テクノ

1. 調査目的

安濃処分場の閉鎖に伴い、閉鎖以降の維持状況を監視する。

2. 調査場所

三重県津市安濃町大字内多字南ノ口 2817 番地 5 他 6 筆

3. 調査地点名

No.2 観測井（中央付近）

No.3 観測井（下流側）

図-1 参照

安濃処分場 地下水観測井 設置位置概要図



『Copyright(c)2019 ZENRIN CO.,LTD 許諾番号:Z19DE第136号』

- ① : 対象地敷地
- ② : No.1観測井(上流側)
- ③ : No.2観測井(処分場最深部)
- ④ : No.3観測井(下流側)

図-1 調査地点

4. 調査期間

2回/年（夏季・冬季）

5. 調査内容

調査対象観測井戸の湧出ガス成分及び井戸の内部温度について調査を行う。

6. 調査項目

6-1 湧出ガス調査

二酸化炭素、メタン、硫化水素、アンモニア

6-2 内部温度調査

温度

6-3 流量測定

湧出ガス量

6-3 共通事項

調査時に以下について記録する。

採取年月日、採取時刻、天候、気温、風向、風速

7. 調査方法

7-1 湧出ガス調査

- ・二酸化炭素、メタン、硫化水素の採取

井戸の管天から80cm程度の位置にガス採取用の管を設置し、真空容器を用いてガスを1Lテドラバッグに採取する。

- ・アンモニアの採取

井戸の管天から80cm程度の位置にガス採取用の管を設置し、ポンプを用いて60L程度のガスをホウ酸吸収液に捕集する。

7-2 内部温度調査

地表から1mごとに熱電対式温度計を用いて温度を測定する。

7-3 流量測定

石けん膜流量計を用いて、井戸管内から湧出するガス量を測定する。

8. 測定方法

測定方法および定量下限値を表-1に示す。

表-1 測定方法と定量下限値

測定項目	測定方法	定量下限値
二酸化炭素	ガスクロマトグラフ法 (TCD)	0.1%
メタン	ガスクロマトグラフ法 (FID)	0.1%
硫化水素	ガスクロマトグラフ法 (FPD)	0.002ppm
アンモニア	インドフェノール吸光光度法	0.1ppm
内部温度	熱電対温度計による測定	0.1°C
流量測定	石けん膜流量計による測定	5mL/min

9. 評価方法

No.2 観測井（中央付近）とNo.3 観測井（下流側）の測定結果を比較する。

以上

改定履歴

日時	改定内容	実施日
2021.12	県の指導により廃止に向けて廃棄物のガス検査を実施 夏・冬、最低基準にある年2回で実施。	2021.2
2022.1	県の指導により廃止に向けガス検査のデータ蓄積の為 年4回実施。春、夏、秋、冬季節変動があるか確認。	2022.2
2023.5	県と話し合いにより一旦検査の実施を見合わせ 春1回のみ。	2023.5
2024.1	県と話し合いにより廃止に向け再度ガス検査実施。 年2回（2月、8月）	2024.2